

泌尿器科 初期研修プログラム

【研修責任者】 小堀 豪

【一般目標】

泌尿器科診療に必要な知識を習得する。

【行動目標】

1. 泌尿器科の診察から診断、治療への流れを習得する。
2. 泌尿器科の基本的検査法の手技を習得する。
3. 泌尿器科の画像読影、臨床データの解釈ができる。
4. 泌尿器科の基本的処置を習得する。
5. 泌尿器科の基本的治療法を理解し、習得する。
6. 診療に関連した文献等資料を適切に検索し、提示することができる。

【研修内容】

外来診察

1. 問診を行い、理学的所見を取り、診療録に記載する。
2. 必要な画像検査の指示を出して読影を行う。
3. 指導医の診察、説明、治療を見学する。
4. 尿道カテーテル留置やブジー等の基本的手技を理解し施行する。

入院診察

1. 主治医とともに担当医として患者を受け持つ。
2. 入院から治療、退院までの流れ（術前計画、インフォームドコンセントの取得、術後管理など）の実際を体験する。

手術

1. 手術内容を理解し、第一助手、第二助手として手術に立ち会う。
2. 後腹膜臓器、男性外性器の解剖について理解を深める。
3. 基本的外科手技（糸結び、縫合など）を習得する。
4. 泌尿器科的内視鏡を理解し、簡単な手技（膀胱内観察など）を習得する。

救急診療

1. 救急患者が来院した場合は、上級医とともに診療にあたる。
2. 尿路感染症、尿路結石症、尿閉、急性陰嚢症などの泌尿器科救急疾患について診断、処置を行う。
3. 緊急手術や入院の必要性を判断する能力を養う。

抄読会、カンファレンス

毎週月曜日の論文抄読会、水曜日の手術症例、病棟カンファレンスおよび金曜日の病理、外来レントゲン・カンファレンスに参加する。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	7:40 論文抄読会 外来 手術	外来	7:40 手術症例、病棟カンファレンス 病棟回診 外来 手術	外来	7:40 病理、レントゲンカンファレンス 外来 手術
午後	手術	検査	手術	検査	手術

【研修評価】

研修終了時に、部長およびスタッフが研修医の評価を行う。
研修医も自己評価および研修診療科と指導医の評価を行う。